

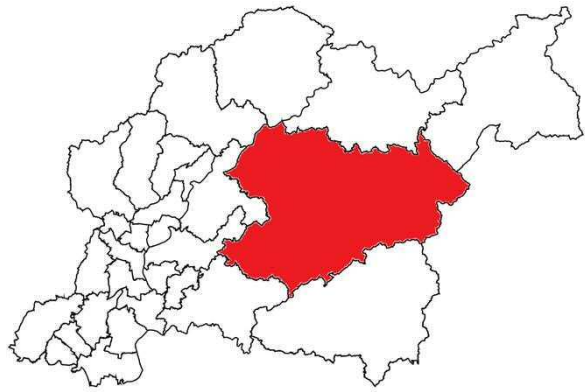
足助地域

自治力見える化カルテ（1 / 2）

地域概要（地域の構造）

基礎データ（平成30年4月1日現在）

【位置図】



【地域特性】

足助地域は、昭和30年に1町3村の合併により誕生し、旧足助町は、平成17年に周辺5町村とともに豊田市へ編入した。区域の約87%を山林が占め、地区東部は率比岳岳（標高1,120m）などの山々が続く一方、西端では標高80mとなる東高西低の地形。

15自治区74自治会からなり、小規模集落が山間に点在している。足助地域内の人口は、昭和前期より一貫して減少傾向にあり昭和25年からほぼ半減、高齢化が進む。

面積	192.65 km ²	(21.0%)	[市 918.32 km ²]
人口密度	41 人/km ²	(8.8%)	[市 462 人/km ²]
人口	7,864 人	(1.9%)	[市 424,500 人]
男性	3,875 人	(1.7%)	[市 221,768 人]
女性	3,989 人	(2.0%)	[市 202,732 人]
うち外国人人口	55 人	(0.3%)	[市 16,327 人]
世帯数	2,842 世帯	(1.6%)	[市 178,410 世帯]
平均年齢	52.9 歳	(10.2歳)	[市 42.73 歳]

■人口

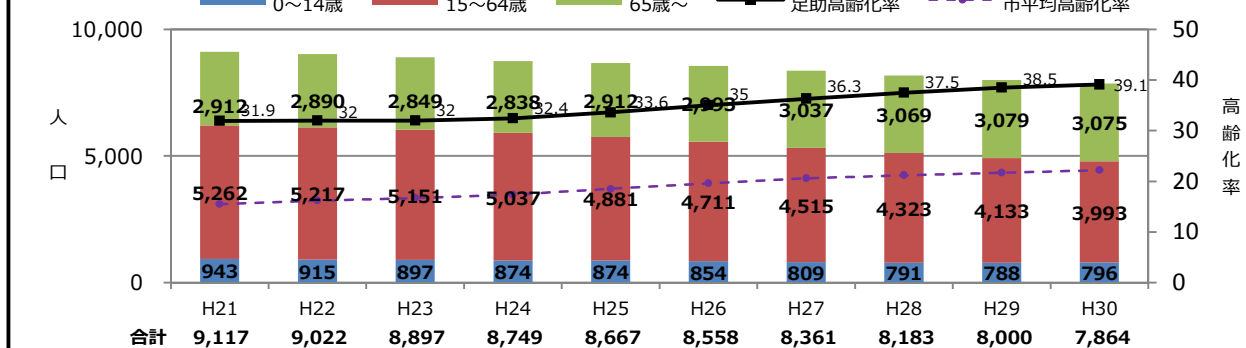
【年齢3区分別人口の推移】

	H25	H30	増減数	増減率
合計	8,667	7,864	△ 803	△ 9.3
0～14歳	874	796	△ 78	△ 8.9
15～64歳	4,881	3,993	△ 888	△ 18.2
65歳～	2,912	3,075	163	5.6
75歳～(再掲)	1,821	1,740	△ 81	△ 4.4
高齢化率	33.60	39.10	5.50	16.38

【人口動態】

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
合計	△ 109	△ 197	△ 178	△ 183	△ 136
自然増減	△ 72	△ 95	△ 84	△ 117	△ 115
社会増減	△ 37	△ 102	△ 94	△ 66	△ 21

【人口推移】



■自治区データ

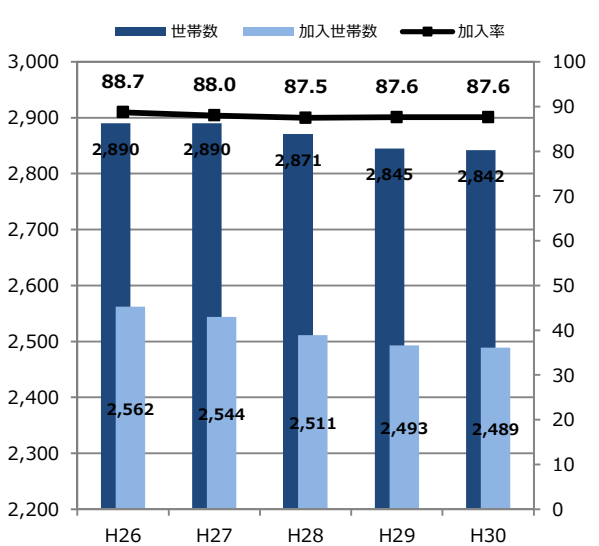
【自治区一覧】

自治区名	世帯数	自治区名	世帯数	自治区名	世帯数
足助	539	橋立	52		
追分	214	足助大見	81		
則定	217	御内	19		
佐切	157	新盛	186		
冷田	199	大蔵	205		
萩野	222	御蔵	155		
明和	176	大河原	49		
大多賀	18				

【自治区加入率】

加入率	87.6 %	加入世帯数	2,489 世帯
[市 80.9 %]		住基世帯数	2,842 世帯

【自治区加入率推移】



地域自治

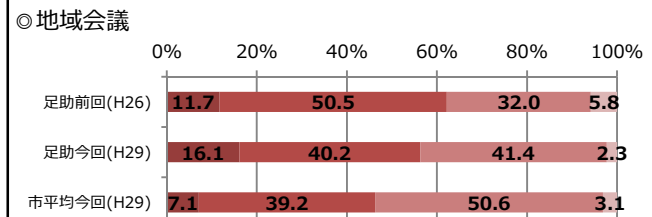
出典：H29地域自治システム評価アンケート

【地域課題】（地域の課題認識が高い順）

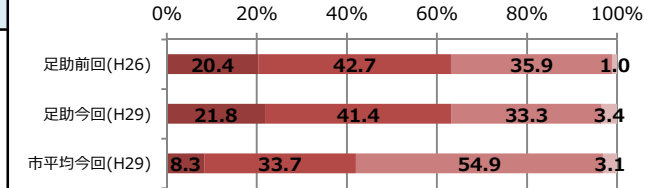
課題・問題点の項目	足助	豊田市	差
交通安全対策の推進	55.2	53.9	1.3
若年層の定住促進策の拡充	52.8	33.6	19.2
医療の充実	51.7	47.2	4.5
豊かな自然環境の保全	51.7	40.3	11.4
生活道路・交通をスムーズにすること	49.4	45.4	4.0
郷土の歴史・伝統・文化の保存と再生	47.1	32.0	15.1
住民同士の交流の場や機会の拡充	47.1	34.2	12.9
高齢者の生きがいづくりの場などの充実	46.0	38.0	8.0
鳥獣害対策の強化	45.9	28.9	17.0
買い物の不便の解消	44.8	43.8	1.0
観光によるまちづくりの推進	44.8	18.9	25.9
子育ての支援の充実	42.5	38.1	4.4
空き家や耕作放棄地の対策の強化	41.4	32.8	8.6
福祉対策の充実	41.3	31.8	9.5
公共交通機関の充実	40.2	44.3	△ 4.1
防災対策の充実	36.8	36.8	0.0
近所での働き口の創出	36.8	25.8	11.0
市街地の活性化と魅力づくりの推進	36.7	31.3	5.4
防犯対策の強化	35.6	40.5	△ 4.9
農業・農地を保全すること	34.4	26.2	8.2
広場、公園などの施設の整備	20.7	39.5	△ 18.8

【地域自治システム認知度】

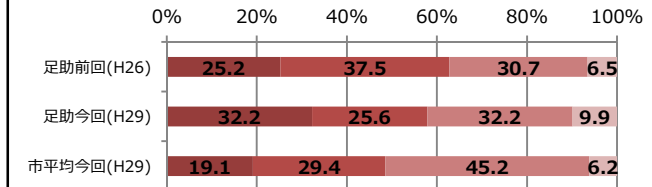
知っている 聞いたことはある 知らない 回答なし



◎地域のわくわく事業



◎地域の地域予算提案事業



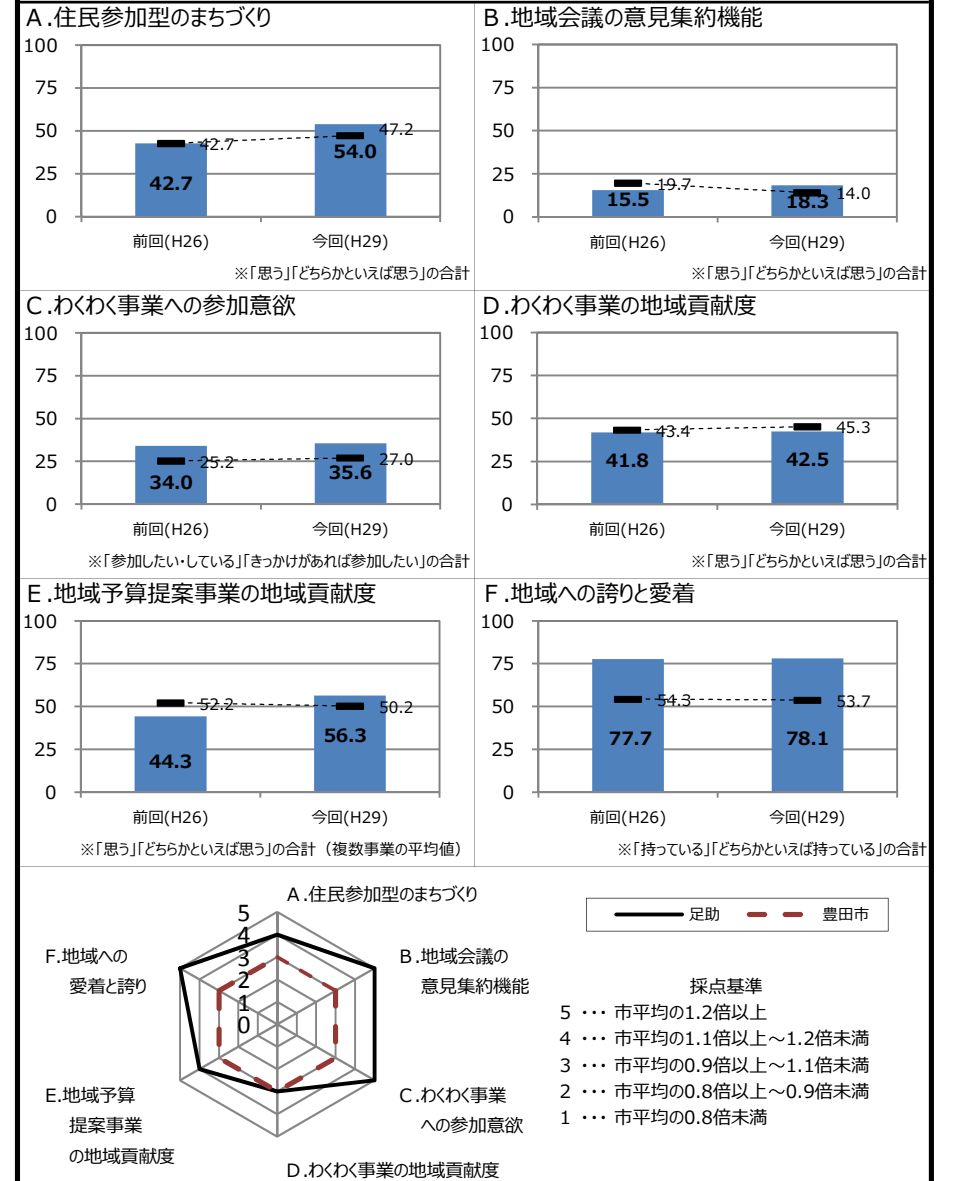
【コメント（地域概要）】

足助地域は、人口減少が進んでいる。平成26年度以降社会減が急激に増えており、高齢化率が急速に高まっている。地域の課題として、「観光によるまちづくり」や「若年層の定住促進策の拡充」が全豊田市と比べて格段に高まっている。

意識（アンケートから診る意識面の自治力）

出典：地域自治システム評価アンケート

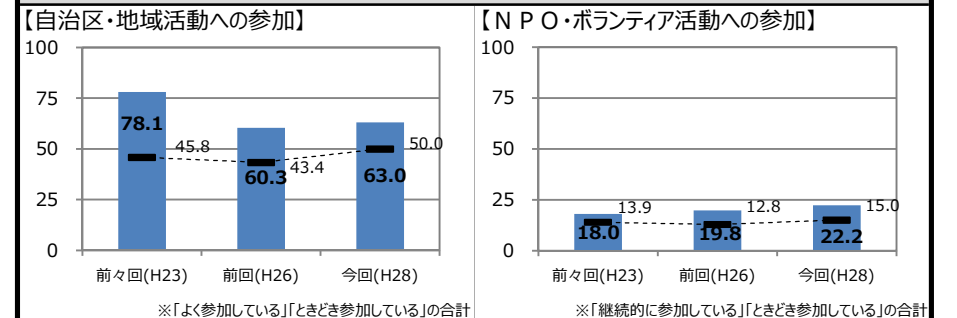
意識面自治力の推移（レーダーチャート）



行動1（アンケートから診る行動面の自治力）

出典：市民意識調査

行動面自治力の推移



【コメント（意識及び行動1）】

・自治区・地域活動への参加が全豊田市と比べて高く、地域活動への参加が熱心な地域になっている。また、地域への誇りと愛着が全豊田市と比べて格段に高くなっている。
・平成26年度に比べ、「住民参加型のまちづくり」、「地域予算提案事業の地域貢献度」が高くなっており、地域課題解決に向けた住民参画の意識の高まりが見られる。

自治力見える化カルテ（2 / 2）

行動 2（分野別取組から診る行動面の自治力）

健康	交流館自主グループ	4 団体	わくわく事業関連団体	団体	福祉	交流館自主グループ	1 団体	わくわく事業関連団体	団体
	スポーツ推進委員	9 名	ヘルスサポートリーダー	30 名		民生委員児童委員	24 名	お元気ですか＊ランティア	5 名
観光・産業	高齢者クラブ	5 団体	その他団体	23 団体	伝統・文化	ささえあいネット	155 団体	その他団体	1 団体
	活動例：【国谷健康ひろば「煌」】 地域住民の健康寿命の維持を図るため、月 2 回地元の道場に集まって健康体操を実施している。心身の健康アップだけでなく、地域の住民のコミュニケーションの場にもなっている。					活動例：【なすびの会】 中山間の障がい者が、自分の住む地域の中で社会とのつながりを大切にして、いきいきと働くことを目的として設立。有機肥料で野菜を栽培し、地元の産直広場で販売するなどの活動をしている。			
環境・景観	コメント：高齢者の健康づくりの意識が高く、各地域で集会所を拠点とした活動（おしゃべり、グランドゴルフ等）が多くある。				コメント：今後は1人暮らし高齢者の増加が予想されるため、地域と各種団体が連携して地域福祉を担う必要がある。				
	交流館自主グループ	団体	わくわく事業関連団体	団体	安全・安心	交流館自主グループ	22 団体	わくわく事業関連団体	3 団体
その他団体	10 団体	－	－	その他団体		15 団体	－	－	
子ども	活動例：【たんころりの会】 平成14年に地元有志により設立。「たんころりん」は足助の夏祭りの風物詩になっている。				自治振興	活動例：【あすけ聞き書き隊】 若い世代が地域のお年寄りからお話を「聞き書き」することによって、足助の歴史・伝統・慣習などを幅広く伝える活動をしている。			
	【麺の会】平成27年に若手有志が中心となり設立。竹筒で作った「竹灯り」を考案・製作し、もみじまつりのイベント「竹灯りの香積寺」を運営している。					【五反田棒の手保存会】小中学生に棒の手を指導し、足助地区内外の各種イベントで演武を披露している。			
健全育成	コメント：足助の町並みを生かしたイベントを開催しており、観光客の集客に大いに貢献している。				コメント：各地域で、地域の歴史と文化を後世に残す取り組み（郷土誌の編集、旧跡の保存等）が行われている。				
	交流館自主グループ	団体	わくわく事業関連団体	4 団体	子ども	交流館自主グループ	1 団体	わくわく事業関連団体	1 団体
その他団体	38 団体	－	－	その他団体		9 団体	－	－	
その他 1	活動例：【阿摺川の清流を愛する会】 「阿摺川上流」の自然環境と住民が憩いの場をを地域の財産として保全する活動をしている。				その他 2	活動例：【地域人文化学研究所】 まちづくりの交流拠点を目指し、かつて旅館だった空き家の補修のワークショップ・地蔵小路の景観管理を行っている。			
	【正三の里を育む会】「正三公園」の周り一帯や荒廃した遊歩道を再整備し、地域住民の心の拠り所とする。					【萩野将来計画策定 P T】移住定住のためにプロジェクトチームを作成し、先進地視察や会議、公開討論会やアンケートを基に成果のまとめを発行する。			
コメント：各地域で地域の資源を活かした取り組み（花桃の植樹、川の整備等）を行っている。				コメント：各地域で、小学生の登下校を見守るスクールガード、自主防災会による防災訓練等を実施している。					
コメント：子どもの健やかな発育に貢献するだけでなく、子育てする親の仲間作りの場にもなっている。				コメント：地域活性化のため各地域で様々な活動が行われているが、担い手不足の問題を抱えている団体も多い。					

【コメント（行動 2）】
地域会議では、10年後の足助の将来像を示した「足助地域ビジョン」を策定した。ビジョンのテーマは「人と人とのつながり」であり、人口減少などの厳しい社会情勢を迎えても、住民がこれまで以上に「つながる」ことで、楽しく前向きに暮らすことができるとしている。現在のところ、足助には多くの団体が活動しているが、10年後も多くの住民が多様な地域活動を続けることが重要である。そのためにも、団体の後継者不足等の課題はあるが、地域会議が中心となって「人と人とのつながり」の大切さを発信し、地域での活動を積極的に働きかけていくことが必要である。

行動 3（事業の展開から診る行動面の自治力）

【わくわく事業実績】											
事業分類	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	
①保健、医療、福祉の推進					1	1					
②地域の伝統、文化、郷土芸能又はスポーツの振興			1	5	4	3	3	3	3	4	
③安心・安全な地域づくり		1							1		
④地域の生活環境改善、景観づくり 自然環境保全	5	9	9	4	8	5	6	6	4	4	
⑤子どもの健全育成	2	1					1				
⑥地域の特性を生かした産業振興	1	1	2								
⑦地域づくりに有効な助言や提案を受けるための事業										1	
⑧その他個性豊かな住みよい地域社会を構築するための事業		1		1	1	1	2	2	1		
事業件数（件）	8	13	12	10	14	10	12	11	9	9	
実績額（千円）	4,174,000	4,897,000	3,911,000	4,800,000	4,097,000	2,964,000	4,020,000	4,885,000	3,832,000	3,594,000	
※H30は、平成30年7月31日現在											
【地域予算提案事業実績】											
事業名	事業分類	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
おためし体験と交流から始まる定住促進事業	定住対策	－	1,767	1,568							
歴史・伝統文化等保存事業	文化活動	2,041	479	479							
耕作放棄地防止事業	農業振興		1,707	2,375	2,254	2,020					
空き家の提供支援による定住促進事業	定住対策				22	20	－	－	383	383	140
足助通信によるUターン促進事業	定住対策				340	227	248	333	461	498	651
森と緑の里山づくり推進事業	自治振興						18,056	17,839	18,993	19,106	19,073
地域活動応援事業	自治振興										136
実績額（千円）		2,041	3,953	4,422	2,616	2,267	18,304	18,172	19,837	19,987	20,000
※H30は当初予算額											
【コメント（行動 3）】 地域の課題として、「観光によるまちづくり」が全豊田市と比べて高くなっているにもかかわらず、地域で活動する団体が少ない。わくわく事業で見ると、同じく地域の課題として、全豊田市に比べて高くなっている「豊かな自然環境の保全」、「郷土の歴史・伝統・文化の保存と再生」を対象にした活動団体は多いのが現状である。											

総評

足助地域の大きな課題に「人口減少による高齢化」と「豊かな自然環境の保全」があり、その解決に向け地域予算提案事業やわくわく事業において、地域の生活環境の改善、景観づくり、自然環境保全などに取り組んでいる。今後、生産人口（15～64歳）の減少が見込まれる中、耕作放棄地や獣害の増加への対応、定住対策として 2 戸 2 戸作戦や空き家登録バンク推進などの対策が必要となる。個々の力を結集し、大きな力にすることで課題を解決していかなければならない。足助地域会議では「人と人とのつながり」で笑顔あふれる足助地域を10年後の将来像に掲げており、地域活動の活性化と地域の団結力の向上を図っていくことで、地域住民がみんな課題を解決するという風土を醸成していくことを今後の方向性として考える。併せて、足助地域の特定の課題である「観光によるまちづくりの推進」や「郷土の歴史・伝統・文化の保存と再生」については、香嵐渓や重伝建の町並み等を整備する中で、地域資源を生かしたまちづくりを推進していく。